

令和3年度 国語（書写）第3学年 年間指導・評価計画 中野区立第二中学校

【第三学年】

(評価規準：【A】十分満足できる，【B】おおむね満足できる)

時間	ページ	教材名	学習のねらい	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
適時	87	目次 第三学年	○第三学年における書写の学習内容や目標を理解することができる。	【B】第三学年における書写の学習内容や目標を理解している。 【A】書写学習が日常のさまざまな書写活動に生きていることを理解している。	【B】第三学年における書写の学習内容や目標を確認している。 【A】第三学年における書写の学習内容や目標を考え、自己の課題を捉えている。	【B】第三学年における書写の学習内容や目標を把握しようとしている。 【A】第三学年における書写の学習内容や目標を、自らすすんで知ろうとしている。
2	88・89	一 行書を深めよう	単元目標 ○行書の特徴について理解を深め、筆使いに気をつけて書くことができる。 ○行書で学習したことを、日常生活に生かしていくことができる。			
	88・89	1 点画の変化と連続 「創造」	○点画の変化や連続を理解して書くことができる。 ○次の文字への筆脈を理解して書くことができる。	【B】点画の変化や連続、次の文字への筆脈を理解している。点画の変化や連続、次の文字への筆脈を理解して書いている。 【A】点画の変化や連続、次の文字への筆脈を理解し、字形を整えて書くことを把握している。点画の変化や連続、次の文字への筆脈を理解して、字形を整えて書いている。	【B】点画の変化や連続、次の文字への筆脈に関する筆使いを確かめ、自己の課題を考えている。 【A】点画の変化や連続、次の文字への筆脈の中から自己の課題を見つけ、その解決方法を考えている。	【B】点画の変化や連続、次の文字への筆脈について、課題意識をもって取り組んでいる。 【A】点画の変化や連続、次の文字への筆脈の中から自己の課題を把握し、その解決に向けて意欲的に取り組んでいる。
3	90～93	二 行書と仮名を調和させて書こう	単元目標 ○行書と仮名を調和させて書くことができる。 ○行書で学習したことを、学習活動や日常生活に生かしていくことができる。			
	90・91	1 行書と仮名の調和 「美しい自然」	○点画の連続を理解して書くことができる。 ○配列を理解して書くことができる。	【B】点画の連続や配列の書き方を理解している。点画の連続や配列の書き方を理解して書いている。 【A】点画の連続や配列の書き方、字形を整えて速く書くことを理解している。点画の連続や配列の書き方を理解して、字形を整えて速く書いている。	【B】点画の連続や配列の書き方を確かめ、自己の課題を考えている。 【A】点画の連続や配列の書き方を確かめ、自己の課題を見つけ、その解決方法を考えている。	【B】点画の連続や配列の書き方に興味・関心をもって取り組んでいる。 【A】点画の連続や配列の書き方に興味・関心をもって、意欲的に取り組んでいる。
	92・93	2 学習を生かして書く 一配列一 ・『おくのほそ道』	○行書と仮名の調和や配列を理解して書くことができる。	【B】行書と仮名を調和よく書く書き方を理解している。行書と仮名を調和よく書いている。 【A】行書と仮名を調和よく書く書き方をよく理解している。行書と仮名を調和よく、字形を整えて書いている。	【B】行書と仮名を調和よく書く書き方を確かめ、自己の課題を考えている。 【A】行書と仮名を調和よく書く書き方を確かめ、自己の課題を見つけ、その解決方法を考えている。	【B】行書と仮名を調和よく書く書き方に興味・関心をもって取り組んでいる。 【A】行書と仮名を調和よく書く書き方に興味・関心をもって、意欲的に取り組んでいる。
2	94～99	三 身のまわりの多様な表現をととして文字文化の豊かさにふれ、効果的に文字を書こう。	単元目標 ○これまでに身につけてきた書写力を生かして、「卒業」をテーマに、語句や文、表現形式を選んで卒業の記念制作に取り組むことができる。			
	94～97	1 多様な表現による文字	○身のまわりで見かける、文字のもつ表現効果について考えることができる。	【B】身のまわりで見かける、文字の表現効果について理解している。 【A】文字の表現効果を、生活に生かすことについて理解している。	【B】身のまわりで見かける、文字の表現効果について考えている。 【A】文字の表現効果を、生活に生かすことについて考えている。	【B】身のまわりで見かける、文字の表現効果に興味・関心をもっている。 【A】文字の表現効果を、生活に生かそうとしている。

時間	ページ	教材名	学習のねらい	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	98・99	2 三年間の学習の成果を生かそう	○三年間の学習を生かして効果的に書き、日常生活に生かすことができる。	【B】楷書や行書の筆使い、字形を理解している。楷書や行書の筆使いや字形に気をつけて書いている。 【A】楷書や行書の筆使いや字形を理解して、筆記用具を選択し、配列を整えて書くことを把握している。楷書や行書の筆使いや字形、筆記用具、用紙を的確に選択し、配列に気をつけて書いている。	【B】楷書や行書の筆使いや字形、筆記用具、用紙について考えている。 【A】楷書や行書の筆使いや字形、筆記用具、用紙を的確に選択している。	【B】三年間の学習を生かして、楷書や行書の筆使いなどの習得に自己の課題をもって取り組んでいる。 【A】自己の課題解決に向けて、積極的に取り組んでいる。
3	137～140	書き初めを書く 「友好の精神」 「真理の探究」	○行書の特徴や配列を理解して書くことができる。 ○中学校での書写学習のまとめとして、行書で書くことができる。	【B】行の中心や全体の調和、配列について理解している。行の中心や全体の調和を理解して、配列よく書いている。 【A】中学校での書写学習をまとめ、行書について理解している。行の中心や全体の調和を理解して、字形を整えて配列よく書いている。	【B】行の中心や全体の調和、配列について考えている。 【A】行の中心や全体の調和、配列について理解し、調和のさせ方を考えている。	【B】中学校での書写学習のまとめとして、意欲的に取り組んでいる。 【A】中学校での書写学習のまとめとして行書について理解を深め、意欲的に取り組んでいる。